

まず「3次元測定」を実施 ～田子山富士修復工事～

修復工事の内容については昨年より埼玉県と打合せを行ってまいりましたが、本年5月に県より、『①今後50年・100年後のことを考慮し、先ず3次元(3D)測定による富士塚の形状精査が必要、②田子山富士塚の保存管理計画および修理基本計画について検討するための「検討委員会」を設置せよ』(11月に発足見込み)との指導があり、『平成26年度の予算申請は修復工事費用ではなく3次元測定費用』となり、6月初旬に予算申請書を志木市を通して県に提出しました。

平成26年度予算が県議会を通る

のは来年2月ごろになる見込みです。この予算が通れば、4月に3次元測定を実施することになり、その結果を踏まえて、6月に修復工事の予算申請書を提出することになります。

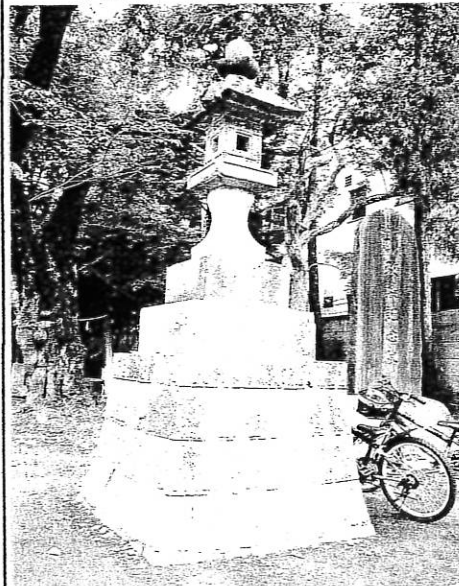
この様な状況変化があったため、当初予定していた寄付金活動は、今年度は実施致しません。これからも色々な事が起こると予想されますが、皆様のご協力を戴きながら対処して参りたいと思いますので、今後ともご支援ご協力の程、宜しく願い申し上げます。(会長・修復部会:清水良介)

志木市の補助金受領

～石燈籠を修復～

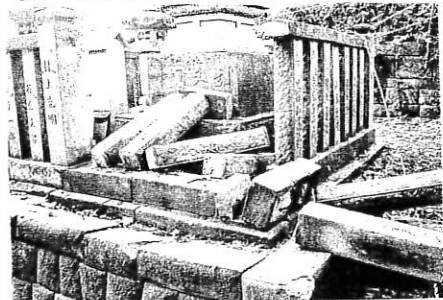
志木市は平成25年度に「志木市地域文化財・啓発事業補助金」を予算化し、積極的に文化財保護事業を進めています。当会では鳥居をくぐって境内に入り即右側に立つ、明治5年製の石燈籠の石組みがゆるんで危険な状態にあったので、この補助金(20万円)を6月に受領し、修復を行いました。不足金額は敷島神社総代会と折半負担と致しました。

【写真下:修復した石燈籠】



続いて修復のために「現状変更届出書」を提出し、了解を得たうえ10月に修復工事を実施しました。

このようなことが再発しないように、防犯カメラの設置を敷島神社総代会にて検討戴いておりますが、皆様の見守りのご協力をお願いいたします。



「草刈り・清掃」で良い汗

～次回は、11月24日～

恒例の田子山富士の草刈り・清掃は、6月16日が雨天だったため22日(土)に延期して実施し、24人の方に汗を流していただきました。今回は大きくなり過ぎたサツキなどを大幅に刈込み、美しい姿にお色直しができました。ご協力ありがとうございました。その後夏草が生い茂ってしまったので、9月10日に有志により臨時の草刈りを実施しました。

次回は11月24日(日)9時から実施致します。もう少し大勢の方にご参加いただくとラクになりますので、宜し

くご協力のほどお願いします。軍手・カマなどは用意しておりますので、作業しやすい服装でお集まり下さい。(環境整備部会:小川勝則)

浅間下社の玉垣が倒壊

敷島神社の夏祭りが終わった7月21日の深夜、浅間下社の玉垣が何者かによって倒されてしまいました。警察に被害届を提出しましたが、現時点で犯人は捕まっていません。昨年の夏祭りが終わった夜にも標石「是より登山みち」が倒され、二年連続の被害となりました。誠に残念な事です。

当会は志木市役所を通して県に「指定文化財き損届出書」を提出し、

特別展「富士山信仰」～志木市立郷土資料館～

10月24日から12月1日まで、志木市立郷土資料館主催、田子山富士保存会・志木市郷土史研究会・志木のまち案内人の会の協力により、特別展「志木の富士山信仰」が志木市立郷土資料館にて開催されています。江戸末期から明治・大正時代にかけて、志木市内には熱心な先達さんが居り、多くの人が富士講に参加していました。

今回の特別展は「田子山富士塚

(県指定文化財)・「羽根倉富士嶽(市指定文化財)・「吉田胎内樹型(世界文化遺産)」を中心に展示されており、当会では展示説明員を担当するなどの協力をさせて頂いています。

また、11月9日いろは遊学館にて、中嶋信彰氏(富士山文化研究会事務局局長)の講演「富士山信仰について」が開催されます。(研修部会:一ノ倉達也)



【写真:特別展の様子】

新しいハッピーで「山開き」・「山仕舞い」

7月6日(土)、田子山富士の山開きが行われました。本来は7月1日に行うものですが、多くの方に参加いただくために週末にずらして実施しました。

水宮宮司による祝詞奏上に続いて、白装束の先達:織田雅裕さんと有志による田子山富士登拝・霊峰富士遥拝が行われました。多くの来賓挨拶、

カッピーやアラちゃんのぬいぐるみ、ハタザクラコロッケ・綿あめなど各種出店、歴史説明会などもあり、多くの方にお楽しみいただきました。

「山仕舞い」も例年通り8月21日に行われ、神事に続いてお焚き上げが行われ、火難除け・安産・平安無事を祈願しました。(行事部会:綱島岡司)



【写真:山開きの神事】

★ハッピーの背中マーク⇒

「吉田胎内樹型」が構成資産に

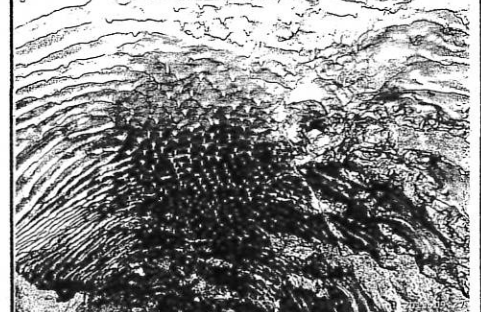
～富士山が世界文化遺産～

6月22日ユネスコにより富士山が世界文化遺産に登録されましたが、これを構成する構成資産(25件)に昨年見学に行った「吉田胎内」も指定されました。「吉田胎内」は宗岡の日行星山(本名:星野勘蔵)が明治25年に発見したもので、周辺には宗岡の人たちが建てた石碑が10本近くもあります。日行星山の碑は、上宗岡4丁目(志木ハイデンスの東北隣り)や羽根倉富士嶽(浅間神社境内)などにもありますので、是非一度ご覧下さい。

【上宗岡4丁目の石碑】



【吉田胎内樹型の内部】



「富士山文化研究会」が来山

6月14日、富士山文化研究会(会長:竹谷勲負氏、事務局:中嶋信彰氏)ご一行様が来られました。山頂まで登り多くの石造物を精査された結果、『国指定の文化財になってもおかしくない』との高い評価を戴きました。

